

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	水芭蕉公園景観及び水芭蕉保全事業
事業主体 (連絡先)	みどり湖水芭蕉の会 塩尻市大門五番町12番41号
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	422,221円 (うち支援金: 312,000円)

事業内容

水芭蕉公園内の景観が悪化してきているなど、観光地・市民の憩いの場である公園の魅力が低下してきていること及び地域住民の水芭蕉公園に対する愛着と誇りを醸成するため、市民団体と地域住民が主体となって、水芭蕉公園の景観・水芭蕉の保全事業を実施

1. 遊歩道の整備

水芭蕉公園の景観保全及び観光客の安全を確保するため老朽化した遊歩道の整備及び新たな遊歩道の設置並びに遊歩道沿いへの丸太杭の設置を行った。

時期：平成27年4月3日～平成28年3月19日

延べ6回、延べ参加者85人

※うち、市民ボランティア延べ7人

規模：歩道約35m (新設中心。まくら木40本分)

丸太杭約60m (丸太杭69本分)

方法：・遊歩道を新設するため、まくら木(2,000mm×140mm×200mm)を設置したとともに、既設の遊歩道のまくら木で腐食が激しいものを交換

・新設した遊歩道沿いの丸太杭(60mm×1,200mm 45本分)を設置し、杭間はロープ(2本約60m)を設置

・既設の丸太杭(歩道誘導杭)で腐食が激しいものを交換(24本分。杭間に約10mロープを設置した箇所有り。)



【遊歩道整備・新設】



【遊歩道整備・丸太杭交換】

2. 周辺環境(観賞スペース)の整備

水芭蕉公園内に生い茂っている雑草駆除並びに樹木の枝打ち及び枯れ木の伐採を行い、公園内の景観を保持するとともに、観賞スペースを確保した。※河川沿いの崩れた場所を補修し、その周辺を鑑賞スペースとして確保した。また、水芭蕉の説明看板を設置し、観光地としての魅力を高めた。

時期：平成27年4月3日～平成28年3月19日

延べ5回、延べ参加者80人

※うち、市民ボランティア延べ4人

規模：水芭蕉公園一帯

方法：枝打ち・撤去等＝4月、5月、3月

草刈り・撤去＝7月、9月



【説明看板設置】

3. 水芭蕉の育成

水芭蕉の育成を促進するため、可搬ポンプを設置し、乾期でも安定的な水の供給を確保するとともに、水芭蕉の群生数を増やすため、水芭蕉の苗の育成を行った。

【ポンプ設置】

時期：平成27年9月1日～平成27年9月30日

延べ5回、延べ参加者8人

方法：可搬ポンプでみどり湖から棚田に水を供給

【苗の育成】

時期：平成27年9月1日から平成28年3月31日

規模：約3.6㎡

方法：ビニールハウスを設置し、暖かい環境の中で、プランター等により水芭蕉の苗を育成



【ポンプ設置】

4. 水芭蕉祭りの開催

水芭蕉祭りを開催し、地域住民の交流の場を提供するとともに、地域住民の水芭蕉公園に対する愛着と誇りの醸成を図った。また、訪れた方々へのおもてなし（支援団体等による賑わいの創出）により魅力ある観光地として情報発信を行った。

日時：平成27年4月12日（日）

午前9時から午後3時まで

内容：・市民団体による音楽・太鼓などの演奏発表（5団体）

・協賛団体（企業含む）による特産品の販売及び甘酒、コーヒーの振る舞い

・住民の交流の場の提供

・水芭蕉の苗の植え付け体験

※苗の植え付けについては、次年度もリピーターとして来訪していただくよう、来場者のうち希望者に有償で行い、記念撮影、写真提供を行った。（1株300円。植え付けた者のプレートを設置）



【水芭蕉祭り】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 水芭蕉公園内の遊歩道の整備及び周辺環境の整備（観覧スペースの確保）等を行ったことにより、景観の保全、来訪者の安全確保及び施設の充実を図ることができた。

2. 水芭蕉の育成を促進するため、可搬ポンプを設置し、乾期でも安定的な水の供給を確保したこと、水芭蕉の苗をビニールハウスで育成したことにより群生数が増加した。

【水芭蕉群生数（H25＝約3,600株→H26＝約4,000株→H27→約4,100株）前年比3%増加】※4月の霜被害により見込み増加率が減少

【目標・ねらい】

- ① 水芭蕉公園の景観保全・磨き上げ
- ② 水芭蕉の保全・育成
- ③ 住民の愛着と誇りの醸成
- ④ 誘客促進（来訪者の増加）

※自己評価【B】

【理由】

- ・公園の魅力向上
- ・市民ボランティア、市民団体等の支援の増加
- ・水芭蕉の群生数の増加
- ・みどり湖来訪者の増加

(別記様式第12号) (第3の8関係)

3. 地域住民と協働で公園の整備・管理を行うことにより、水芭蕉公園に対する愛着と誇りが醸成され、会員にならなくてもボランティアとして整備に加わる者が増加した。また、魅力を発信するイベントへの市民団体の参加も増加した。

【会員数 (H25=26人→H26=28人→H27=28人)】

【市民ボランティア参加数 (H26=延べ8人、H27=延べ11人) 前年比25%増加】

【水芭蕉まつりへの市民団体参加数H25=2団体延べ10人→H26=4団体1個人延べ30人、H27=5団体延べ35人) 前年比20%増加】

4. みどり湖の堤体の耐震工事が必要なため、現在、みどり湖でのへら鮒釣りが禁止されている中、水芭蕉公園の魅力を磨き上げることで魅力ある観光地・市民の憩いの場として観光客・市民の誘客促進に繋がっている。

【みどり湖観光入込客数】

H24=25,500人→H25=17,000人 30%減少

H26=16,500人 前年比5%減少※激減傾向に歯止め

H27=17,500人 前年比5%増加

5. 市民団体及び地域住民が主体となって整備しているということもあり、各種メディア等 (NHK、テレビ松本、市民タイムス等) の取材が情報発信にも繋がった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・地域住民はもとより関係団体並びに観光地及び市民の憩いの場をつくる実践者を増加させることにより、水芭蕉公園だけではなくみどり湖全体の景観保持と魅力の磨き上げを行っていききたい。

・水芭蕉が咲く時期以外の公園の魅力創出 (活用) を行政、地域住民、関係団体と連携して行っていききたい。

・水芭蕉の育成環境が整いつつあるため、水芭蕉の群生数をさらに増加させるなど魅力を高めることにより、今後も継続して維持管理が行えるような仕組み (体制) づくりを行っていき

たい。(維持管理費の確保等)

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第 1 2 号) (第 3 の 8 関係)